

# 地方創生加速化交付金

企画調整部企画課(電話:457-2241)

## 1 目的

「浜松市“やらまいか”総合戦略(計画期間:平成27年度から平成31年度まで)」の着実な推進のため、地方創生加速化交付金を活用し、事業を実施する。

## 2 背景

平成28年1月20日に「地方創生加速化交付金」1,000億円(補助率10/10)を含む平成27年度補正予算が成立

## 3 事業内容

### (1) 地方創生加速化交付金制度概要

- ①事業分野:しごと創生、地方への人の流れ、働き方改革、まちづくりのいずれかに該当すること
  - ②先 駆 性:官民協働、地域間連携、政策間連携のうち、2つ以上の要素を満たすことなど
- ※市区町村の申請事業数は2事業まで

### (2) 申請事業

- ①大河ドラマ(おんな城主 直虎)を契機とした浜松・浜名湖ブランドの強化による交流人口拡大事業
  - ・概要:家康公400年祭で盛り上がる歴史文化によるまちづくりの勢いを加速するため、官民協働によりドラマの放映までの限られた時間の中でスピード感を持って効果的に事業を展開することで、浜松・浜名湖ブランドを強化し、観光交流人口の拡大を目指す
- ②中山間地域のにぎわい創出、しごと創生事業
  - ・概要:人口減少が加速度的に進行している中山間地域において、しごとの創生、交流人口や定住人口の増加のための事業を実施し、中山間地域のにぎわい創出を目指す

## 4 事業費 171,410千円(財源:国 地方創生加速化交付金 80,000千円)

- ①大河ドラマ(おんな城主 直虎)を契機とした浜松・浜名湖ブランドの強化による交流人口拡大事業:140,489千円
- ②中山間地域のにぎわい創出、しごと創生事業:30,921千円

# 直虎プロジェクト推進事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

## 1 目的

平成 29 年 1 月より大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送が決定したことを受け、浜松市への観光客の受入体制を整備するとともに、井伊直虎を活用した観光誘客を図る。

## 2 背景

- ・平成 29 年 1 月から大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送が決定
- ・井伊直虎の人物像について、子どもから大人まで、市民の理解を深めるとともに、本市の歴史的資源を活かした PR 活動や歴史、大河ドラマのファンなど新たな観光客層の開拓を推進する必要がある

## 3 事業内容

[平成 27 年度 2 月補正]

### (1) 「おんな城主 直虎」推進協議会への負担金

官民連携により本市の歴史・文化の情報発信、観光振興による地域経済の活性化を図る

### (2) 啓発受入事業費

- ・家康公祭りにおける直虎プロモーション

「出世の街浜松 家康公祭り」において井伊直虎を題材とした演劇などを実施

- ・マスコットキャラクター製作・活用

井伊直虎のマスコットキャラクターを公募、着ぐるみを製作しプロモーションに活用

### (3) 誘客宣伝事業費

広告宣伝、パンフレット・ノベルティグッズ作成、専用ホームページ運用

[平成 28 年度当初]

### (1) 大河ドラマ館関連経費

大河ドラマの撮影セット、衣装・小道具などを展示し、大河ドラマの世界観を体感できる大河ドラマ館を設置し、新たな観光施設として誘客を促進する

- ・場所：みをつくし文化センター（北区細江町気賀）
- ・開設：大河ドラマ放送に合わせ平成 29 年 1 月から平成 30 年 1 月まで（予定）
- ・展示物等設置業務委託、管理運営・入場券販売管理等包括業務委託、開館イベントなど

## 4 事業費 226,600 千円

平成 27 年度 2 月補正計上 80,500 千円（財源：国 37,600 千円）

※地方創生加速化交付金事業、繰越明許費

平成 28 年度当初計上 146,100 千円

- ・委託料 190,939 千円（大河ドラマ館展示物等設置業務委託、マスコットキャラクター着ぐるみ製作、観光宣伝用ツール作成等）
- ・負担金 15,000 千円（家康公祭りにおける直虎プロモーション負担金等）
- ・その他 20,661 千円（奥山観光トイレ整備、みをつくし文化センター借上等）

# 大河ドラマ関連事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

## 1 関連事業費

大河ドラマ関連事業として、平成27年度2月補正、平成28年度当初予算の合計で5.3億円を計上。また、平成27年度11月補正及び現計予算対応を含めた関連事業費は、6.6億円。

(単位：千円)

No.	事業	27年度			28年度	合計 (C+D)	【参考】 合計 (A+B+C+D)
		現計対応 A	11月補正 B	2月補正 C	当初予算 D		
1	直虎プロジェクトの推進	5,484	63,000	80,500	146,100	226,600	295,084
2	(仮称)地域遺産センターの整備	10,927	0	107,629	37,100	144,729	155,656
3	道路の交通安全対策	0	37,000	0	140,000	140,000	177,000
4	その他関連事業	4,682	10,000	13,048	8,814	21,862	36,544
合計		21,093	110,000	201,177	332,014	533,191	664,284

## 2 事業内容

(1) 直虎プロジェクトの推進 226,600千円(観光・シティプロモーション課)

①「おんな城主 直虎」推進協議会への負担金

②啓発受入事業費

・家康公祭りにおける直虎プロモーション

「出世の街浜松 家康公祭り」において井伊直虎を題材とした演劇などを実施

・マスコットキャラクター製作・活用

井伊直虎のマスコットキャラクターを公募、着ぐるみを製作しプロモーションに活用

③誘客宣伝事業費

広告宣伝、パンフレット・ノベルティグッズ作成、専用ホームページ運用

④大河ドラマ館関連経費

ドラマ館展示物等設置業務委託、ドラマ館管理運営・入場券販売管理等包括業務委託

⑤奥山観光トイレ修繕 など

(2) (仮称)地域遺産センターの整備 144,729千円(文化財課)

(詳細は30ページ参照 ※地域遺産センター事業及び美術館施設整備事業の事業費の一部)

引佐協働センターの2階を改修、文化的資源の展示公開機能とビジターセンター機能を併せ持つ(仮称)地域遺産センターを整備

・平成29年1月の供用開始から1年間は、井伊直虎に関する展示を実施

(3) 道路の安全対策 140,000千円 (道路課)

北区井伊谷地区周辺を中心とした交差点や路肩のカラー化、区画線更新など道路の交通安全対策

- ・(国) 362号、(県) 引佐館山寺線など

(4) その他関連事業 21,862千円

- ・第20回静岡県民俗芸能フェスティバルin浜松における民俗芸能披露 (文化財課)  
(詳細は18ページ参照)
- ・井伊古城跡の遺構平面図、地形模型、CG作成等 (文化財課) (詳細は15ページ参照)
- ・企画展「井伊直虎とその時代展」、見学会「井伊古城を歩く」(文化財課)  
(詳細は16ページ参照)
- ・天竜浜名湖鉄道と連携した、PR・イベント実施等への支援 (交通政策課) など

(参考) イベントスケジュール

No.	内容	所管課
1	直虎ゆかりの史資料デジタル化、インターネット上での公開	中央図書館
	直虎ゆかりの史資料を高精細デジタル化、平成28年3月末にインターネット上で公開	
2	「出世の街浜松 家康公まつり」における直虎プロモーション	観光・シティプロモーション課
	家康公と直虎を主人公とした演劇「浜松城 家康の愛」の開催など 開催日：平成28年5月下旬 場所：浜松城公園	
3	戦国城下町探訪講座	文化財課
	テーマ：戦国城下町を読み解く 開催：平成28年10月・11月頃 場所：天竜壬生ホール	
4	直虎と湖北の戦国時代展 (前編・後編)	博物館
	戦国時代に今川・武田・徳川らの群雄割拠の舞台であった浜名湖北岸の武将たちにゆかりの資料の展示 開催：平成28年12月17日～平成29年4月9日 場所：博物館	
5	東海しろあとセミナー	文化財課
	テーマ：井伊直虎とその時代 開催：平成28年12月頃 場所：アクトシティ浜松コンgresセンター	
6	企画展「井伊直虎とその時代展」	文化財課
	井伊谷城の地形再現模型の展示、出土遺物復元等による井伊家本拠地の歴史的環境・景観を解説する展示 開催：平成29年1月から1年間 場所：引佐協働センター (仮称) 地域遺産センター	
7	大河ドラマ館開館イベント	観光・シティプロモーション課
	大河ドラマの撮影セットや衣装等の展示を通じ、大河ドラマの世界を体験する施設の開館イベント 開催：平成29年1月 場所：みをつくし文化センター	
8	第20回静岡県民俗芸能フェスティバルin浜松における民俗芸能披露	文化財課
	井伊家ゆかりの民俗芸能である「川名のひよんどり」などを披露 開催日：平成29年1月22日 場所：雄踏文化センター	
9	見学会「井伊古城を歩く」井伊古城とその周辺のまちあるき	文化財課
	井伊古城跡をはじめとした井伊谷地区の史跡を歩きながら歴史文化を学ぶ見学会 開催：平成29年3月頃 場所：北区井伊谷地区	

# シティプロモーション事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

## 1 目的

様々なメディアやツール・手法を組み合わせた戦略的なプロモーションを展開することで、都市の知名度やイメージを向上させるとともに、シティプロモーションのコンセプトである「出世の街 浜松」の全国的な定着を目指す。

## 2 背景

平成 27 年 11 月には、出世大名家康くんが「ゆるキャラ®グランプリ 2015」でグランプリを獲得、また、平成 29 年 1 月からは、本市にゆかりのある井伊直虎を題材とした大河ドラマの放映が決定するなど、本市の PR には絶好の機会が訪れている

## 3 事業内容

[平成 27 年度 2 月補正]

- ・「出世の街 浜松」全国プロモーション及び戦略的メディアリレーション 25,000 千円
  - ・情報誌制作 (HAMA 流 110,000 部×3 回発行) 等 12,096 千円
  - ・(新規) 家康くんによる浜松市イメージアップキャンペーン 4,800 千円
- 家康くんが市内観光スポット等を巡る動画制作 (15 分×4 テーマ)

[平成 28 年度当初]

- ・(新規) バイクのふるさとプロモーション 3,074 千円  
鈴鹿 8 時間耐久レースへのブース出展やツーリングマップの作成
- ・(新規) 家康公ジオラマ制作事業 1,503 千円  
徳川家康公と浜松のつながりを視覚的に表現できるジオラマ制作  
浜松城開基 450 年となる平成 32 年までの 5 年間、年に 1 作品制作し浜松城へ展示
- ・ゆるキャラ®グランプリ 出場キャラクターや歴代グランプリ獲得者への訪問 PR 1,045 千円
- ・(新規) (仮称) 全国家康公顕彰会への負担金 200 千円  
平成 27 年の徳川家康公顕彰四百年記念事業の後継組織を通じた家康公顕彰

など

## 4 事業費 77,896 千円

平成 27 年度 2 月補正計上 49,903 千円 (財源: 国 23,300 千円)

※地方創生加速化交付金事業、繰越明許費

平成 28 年度当初計上 27,993 千円

- ・委託料 63,934 千円 (「出世の街 浜松」プロモーション、家康くん関連経費等)
- ・その他 13,962 千円

# 城跡整備活用事業

市民部文化財課(電話:457-2466)

## 1 目的

天竜川流域の戦国時代城跡群や大河ドラマの放映に合わせた井伊谷地域の調査研究・活用を行い、歴史や風土を活かした地域文化の醸成や生涯学習の推進など、文化財を活かしたまちづくりを推進する。

## 2 背景

- ・二俣城跡・鳥羽山城跡について、平成 29 年度に国指定史跡へ申請予定
- ・大河ドラマの舞台となる井伊谷城跡は、井伊直虎と直接的にかかわる希少な史跡

## 3 事業内容

[平成 27 年度 2 月補正]

### (1) 井伊谷城跡整備活用事業 8,800 千円

大河ドラマの放映に先立ち、井伊谷城跡の遺構平面図、地形模型、CG 作成や、井伊谷城跡看板等を整備

### (2) 戦国城下町探訪講座、東海しろあとセミナーの開催 419 千円

井伊直虎に関連したテーマでの講座等の開催

○開催概要

区分	戦国城下町探訪講座	東海しろあとセミナー
時期	平成 28 年 10 月・11 月頃	平成 28 年 12 月頃
会場	天竜壬生ホール	アクトシティ浜松コンgresセンター
テーマ	戦国城下町を読み解く	井伊直虎とその時代

[平成 28 年度当初]

### (1) 二俣城跡・鳥羽山城跡整備活用事業 5,994 千円

平成 29 年度の国指定史跡への申請に向けた準備として、二俣城跡活用基本構想の策定や山城総合報告書を作成 ほか

## 4 事業費 16,935 千円

平成 27 年度 2 月補正計上 9,219 千円 (財源: 国 4,300 千円)

※地方創生加速化交付金事業、繰越明許費

平成 28 年度当初計上 7,716 千円

- ・委託料 10,700 千円 (井伊谷城跡遺構平面図・地形模型・CG 作成業務ほか)
- ・その他 6,235 千円 (需用費、工事請負費ほか)

# 遺跡出土品等情報公開・活用事業

市民部文化財課(電話:457-2466)

## 1 目的

市民の関心が高い遺跡や出土品について調査や研究を行い、歴史情報をもとに、講演会、見学会、展示会などの公開事業を実施して、郷土の魅力を広く情報発信する。

## 2 背景

- ・大河ドラマの舞台となる井伊谷城をはじめとした浜松の歴史遺産への関心が期待される
- ・奈良時代の伊場遺跡群から浜松の歴史上で重要な祭祀具(木製品)が出土(平成26年11月)

## 3 事業内容

[平成27年度2月補正]

### (1) 企画展「井伊直虎とその時代」の開催 635千円

大河ドラマの舞台となる井伊谷地区において、企画展を開催

- ・ 期 間：平成29年1月～平成29年12月
- ・ 会 場：(仮称)地域遺産センター  
(引佐協働センターの2階を改修し、平成29年1月供用開始予定)
- ・ 内 容：井伊谷城の地形再現模型の展示や、浜松の戦国時代を中心とした出土遺物の復元等による井伊家本拠地の歴史的環境・景観が判る展示

### (2) 見学会「井伊谷城を歩く」の開催 232千円

大河ドラマの舞台となる井伊谷地区において、見学会を開催

- ・ 時 期：平成29年3月頃
- ・ 内 容：井伊谷城跡をはじめとした井伊谷地区の史跡等を歩きながら、井伊谷の歴史文化を学ぶ見学会

[平成28年度当初]

### (1) 市内重要遺物整理活用事業 655千円

- ・ 市内出土重要木製品の保存処理や重要出土品整理作業 ほか

## 4 事業費 1,648千円

平成27年度2月補正計上 867千円(財源:国 400千円)

※地方創生加速化交付金事業、繰越明許費

平成28年度当初計上 781千円

- ・ 需用費 807千円(企画展・見学会チラシ等印刷製本費、消耗品)
- ・ 委託料 346千円(市内出土重要木製品保存処理業務)
- ・ その他 495千円(役務費ほか)

# 中山間地域あらたな仕事づくり研究事業

市民部市民協働・地域政策課(電話:457-2094)

## 1 目的

新たな産業を創出し、中山間地域における定住人口を拡大することにより中山間地域を活性化させる。

## 2 背景

- ・中山間地域における交流・定住人口拡大の必要性
- ・中山間地域における新産業の創生による自立促進と、雇用拡大による移住・定住の促進

## 3 事業内容

### (1) 中山間地域あらたな仕事づくり研究事業 9,427 千円

〔平成 27 年度 2 月補正：9,024 千円、平成 28 年度当初：403 千円〕

学識経験者等専門家を交えた中山間地域あらたな仕事づくり研究会を設置により、民間が主体的に実施する、完全閉鎖型陸上養殖、有害鳥獣の利活用など、新たな産業の創出可能性を調査するとともに、実証実験を行う。

- ・平成 27 年度：特定非営利活動法人がんばらまいか佐久間と協働し、アワビの陸上養殖実証実験
- ・平成 28 年度：アワビ陸上養殖実証実験の継続、ジビエの利活用の研究

### (2) (新規) 中山間地域遊休資産活用事業 1,980 千円〔平成 28 年度当初〕

中山間地域の遊休施設について、企業等のアイデアや資本の活用による地域振興を図るため、貸付の特例措置を創設するとともに、全国への情報発信を行う。

### (3) (新規) 中山間地域ドローン活用可能性調査事業 731 千円

〔平成 27 年度 2 月補正：650 千円、平成 28 年度当初：81 千円〕

急峻な中山間部はドローン（無人航空機）による生活支援や災害対応等への活用が期待されることから、ドローンに精通した有識者による講習会の実施、飛行ルールの整備等を行い、活用の可能性を検証する。

## 4 事業費 12,138 千円

平成 27 年度 2 月補正計上 9,674 千円（財源：国 4,500 千円）

※地方創生加速化交付金事業、繰越明許費

平成 28 年度当初計上 2,464 千円

- ・委託料 10,134 千円（中山間地域あらたな仕事づくり研究業務委託費など）
- ・その他 2,004 千円



# 無形民俗文化財活性化事業

市民部文化財課(電話:457-2466)

## 1 目的

市内に伝承されている無形民俗文化財にかかる活動支援等を通じて、民俗芸能等の確実な伝承や地域の活性化、地域の文化遺産の国内外への発信を図る。

## 2 背景

- ・本市の特色である多数の無形民俗文化財の存在（無形民俗文化財保護団体 19 団体）
- ・市内の無形民俗文化財の後継者不足
- ・「創造都市・浜松」推進アクションプログラムにおけるコア事業としての位置づけ

## 3 事業内容

[平成 27 年度 2 月補正]

- (1) (新規) 学校と地域の連携による次世代への無形民俗文化財継承モデル事業 900 千円

無形民俗文化財の後継者養成活動の基盤強化を図るため、児童・生徒を対象とした継承のモデル事業を学校・地域の連携で実施（モデル校 2 校）

- (2) (臨時) 第 20 回静岡県民俗芸能フェスティバル in 浜松の開催 2,962 千円

無形民俗文化財の伝承活動の活性化や地域の文化遺産を広くアピールするため、市内に継承されている無形民俗文化財の成果発表を行う

- ・ 日程等：平成 29 年 1 月 22 日（日） 雄踏文化センター大ホール（定員 600 人）
- ・ テーマ：「地域の想い・地域の絆 次世代へツナグ」
- ・ 内 容：後継者育成を主題にしたシンポジウムや、子供等後継者の育成に積極的に取り組んでいる保存会等による井伊家ゆかりの民俗芸能の披露

- (3) 民俗芸能大会等出場激励金 1,050 千円 ほか

[平成 28 年度当初]

- (1) (臨時) 海外交流事業 1,100 千円

平成 29 年度に計画する海外交流事業の準備 ほか

## 4 事業費 6,746 千円

平成 27 年度 2 月補正計上 5,212 千円（財源：国 2,400 千円）

※地方創生加速化交付金事業、繰越明許費

平成 28 年度当初計上 1,534 千円

- ・ 委託料 3,265 千円（静岡県民俗芸能フェスティバル舞台運営業務ほか）
- ・ 旅費 1,234 千円（国県会議等旅費）
- ・ その他 2,247 千円（報償費、使用料及び賃借料ほか）

## 〈新規〉天竜材海外輸出検証事業

産業部林業振興課(電話:457-2159)

### 1 目的

天竜材の新たな販路拡大先として想定される中国・韓国・台湾等への海外輸出の可能性を検証するため、木材需要や双方の法的規制、国内の先進地事例調査などを行う。

### 2 背景

- ・国内での木材需要の減少が進む中、新たな販路の検討が必要
- ・国内の一部企業では、すでに海外企業と連携した輸出を行っているため、浜松市においても輸出検証が必要

### 3 事業内容

[平成 27 年度 2 月補正]

- ・天竜材 (FSC 認証材) について、海外輸出の可能性の調査・検証 4,000 千円
  - ①中国、韓国、台湾等の木材マーケット調査
  - ②輸出に関する法規制等の調査
  - ③木材輸出に関する先進地域の情報収集
  - ④木材輸出に関するセミナー等の開催

[平成 28 年度当初]

- ・木材マーケット調査 486 千円

### 4 事業費 4,486 千円

平成 27 年度 2 月補正計上 4,000 千円 (財源: 国 1,900 千円)

※地方創生加速化交付金事業、繰越明許費

平成 28 年度当初計上 486 千円

- ・委託料 4,000 千円 (木材マーケット調査や法的規制の確認等の委託)
- ・旅費 486 千円

# 市内間交流事業

市民部市民協働・地域政策課(電話:457-2094)

## 1 目的

新たな交流や定住機会の促進及び中山間地域を訪れる機会を提供するため、中山間地域と都市部の交流の促進を図る。

## 2 背景

- ・中山間地域では高齢化や人口減少に伴う地域活力の低下が課題となっている
- ・国土縮図型都市と呼ばれ市域が広大な本市においては、市内の中山間地域と都市部の交流（市内間交流）の促進が重要課題となっている

## 3 事業内容

### (1) 子ども中山間地域交流事業 3,456 千円〔平成 27 年度 2 月補正〕

市内都市部の子どもと中山間地域の子ども及び住民との交流を交えた 2 泊 3 日程度の宿泊体験の実施

### (2) ザ・山フェス開催事業 4,093 千円

〔平成 27 年度 2 月補正：3,000 千円、平成 28 年度当初：1,093 千円〕

市内都市部にて、都市部住民と中山間地域住民のコラボレーションによる山の魅力体感イベント「ザ・山フェス」を開催（平成 28 年 10 月）

### (3) 中山間地域交流ネットワーク事業 1,510 千円〔平成 27 年度 2 月補正〕

中山間地域でボランティアを希望する都市部住民・団体とボランティアを必要とする中山間地域の住民・団体をマッチングし、住民同士の交流を図る

### (4) 地域づくりインターンモデル事業 499 千円〔平成 28 年度当初〕

大学生が中山間地域に一定期間宿泊し、地域づくりに参加するモデル事業の実施

### (5) 交流促進事業 1,218 千円

〔平成 27 年度 2 月補正：958 千円、平成 28 年度当初：260 千円〕

小学生とその親を対象とした中山間地域交流バスツアーなど中山間地域と都市部の各種交流事業の実施

## 4 事業費 10,776 千円

平成 27 年度 2 月補正計上 8,924 千円（財源：国 4,100 千円）

※地方創生加速化交付金事業、繰越明許費

平成 28 年度当初計上 1,852 千円

- ・委託料 4,685 千円（子ども中山間地域交流事業業務委託費など）
- ・負担金補助及び交付金 3,000 千円（ザ・山フェス開催事業負担金）
- ・その他 3,091 千円（子ども中山間地域交流事業に係る会場借上など）

# 中山間地域移住コーディネーター事業（居住促進事業）

市民部市民協働・地域政策課（電話：457-2094）

## 1 目的

中山間地域への移住促進のため、「移住コーディネーター」による移住希望者及び受入地域の支援を積極的に行う。

## 2 背景

- ・地方から大都市への人口流出に歯止めをかけ、地方へ新しい人の流れを生み出すことが重要
- ・中山間地域の移住支援については、移住希望者のニーズ、地域事情の両方に精通している者による柔軟で迅速な対応が必要

## 3 事業内容

〔平成 27 年度 2 月補正〕

新たに「中山間地域移住コーディネーター」1 人を配置し、中山間地域への移住に向けた支援・調整を行う

### （1）対応業務

- ・現地案内ツアー等地域案内イベントの企画立案、開催
- ・移住を検討している者に対する相談実施、首都圏で開催される移住相談会への参加
- ・各種団体（田舎暮らし推進団体、WELCOME 集落）との連携・支援

### （2）想定人材・選考方法

- ・移住希望者のニーズと地域事情の両方に精通した山里いきいき応援隊 OB・OG などを対象に、意向や適性をヒアリング等で確認し選定

### （3）役割分担

項目	中山間地域移住コーディネーター	浜松山里いきいき応援隊
目的	移住・定住促進	集落支援、地域活動支援
活動地域	中山間地域全域、市内外	天竜、春野、佐久間、水窪、龍山、引佐の各地域
事業内容	・移住希望者の誘致、PR、移住相談業務 ・移住希望者と地域集落、地域団体間とのコーディネート ・移住後の定住支援、交流会開催	・地域の産業振興に係る支援 ・集落の生活環境維持に係る支援 ・地域行事、集落の活性化に係る支援

## 4 事業費 3,111 千円

平成 27 年度 2 月補正計上 3,111 千円（財源：国 1,500 千円）

※地方創生加速化交付金事業、繰越明許費

- ・報償費 3,000 千円（中山間地域移住コーディネーターに対する報償費）
- ・その他 111 千円